

主な施策の実施状況 (2021年度)

家庭部門

ECOチャレンジ応援事業

市民協議会

- ・電気やガスの使用量削減、家庭用LED照明の購入などのエコアクションに対して、交通系ICカードのポイントをインセンティブとして付与

1,295世帯参加 (2,380,590ポイント付与)

先着150名

「脱炭素(ゼロ・カーボン) ECOチャレンジキャンペーン」を実施

CO2排出削減効果の高い
「省エネ家電の購入」を報告した場合

通常 2,000ポイント を

10,000ポイント
に拡充



住宅用エネルギーシステム導入促進事業

市民協議会

- ・『エネルギーを創って貯めて賢く使う』自家消費型の住宅用エネルギーシステムの普及促進のため、導入費用の一部を助成

【導入が図られたシステム数】

太陽光発電：170基、家庭用燃料電池：200基

HEMS：324基、蓄電池：317基、V2Hシステム：8基



住宅用エネルギーシステム (概念図)

再エネ由来電力共同購入事業

- ・家庭や事業所における使用電力の脱炭素化を推進するため、共同購入手法を活用した再生可能エネルギー由来電力の導入機会を提供

参加登録者：274件 切替数：56件



みんなで作るエコな電気。
グループパワーで、かしくこくチョイス。未来へつなぐおトクな一歩。



再生可能エネルギー由来電力

主な施策の実施状況（2021年度）

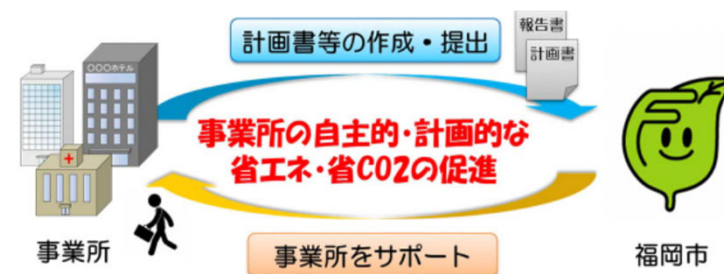
業務部門

事業所省エネ計画書制度

- ・事業所による自主的かつ計画的な省エネの支援

【制度の対象】

年間のエネルギー使用量が500kL（原油換算）
以上の市内事業所
参加事業所総数：40件



省エネサポート事業

- ・省エネ機器の光熱費削減効果、初期費用を抑えた手法、各種支援制度、効率的な運用方法等について「いつでも見られる省エネセミナー」として省エネ啓発動画を市HP上で発信

研究開発型スタートアップ成長支援事業

- ・将来的に福岡市の経済をけん引する独自技術を持った研究開発型スタートアップ企業に対し、事業の推進に係る経費等を助成し、更なる成長を支援

【2021年度採択(グリーンテック枠)】

株式会社日本炭素循環ラボ「低コスト・高性能なCO₂回収・再資源化技術の開発」
KAICO株式会社「カイコを用いた組換えタンパク質の開発・生産」

主な施策の実施状況（2021年度）

自動車（モビリティ）部門

次世代自動車の普及促進

市民協議会

2021年度は助成枠を
拡充（約2倍）

- 電気自動車等購入助成：214台 急速充電設備設置助成：4基



宅配ボックス導入助成事業 新規

- 再配達抑制と受取の非接触化につながる宅配ボックスの購入費用を助成
補助件数：783件



自転車通行空間の整備

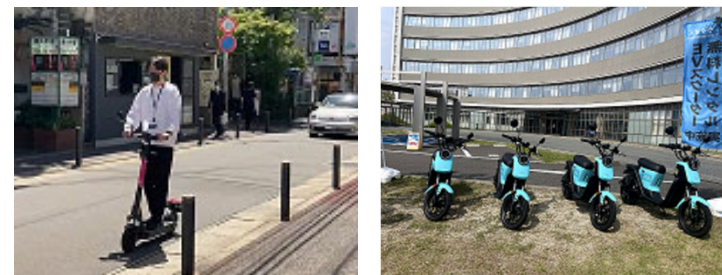
- 整備延長：約8.9km（累計約131.6km）



自転車通行帯整備例

実証実験フルサポート事業

- 電動キックボードシェアリングサービスの実証実験
- EVスクーターシェアリングサービスの実証実験



実証実験の様子

主な施策の実施状況（2021年度）

廃棄物部門

給水スポットの設置

- ・マイボトル利用推進の啓発によりプラスチックごみを削減するとともに、脱炭素社会の実現を図ることを目的に「マイボトル用の給水スポット」の供用を開始
- ・福岡市植物園、博多区役所の2か所に設置



植物園

博多区役所

ボランティア清掃用ごみ袋へのバイオマス素材導入

- ・ラブアース・クリーンアップ用ごみ袋（バイオマス素材25%以上配合）
- ・環境美化袋（バイオマス素材25%以上配合）

イベント等でのワンウェイプラスチックの削減推進 新規

- ・イベント等におけるワンウェイプラスチック使用量の削減を図るため、参加者への啓発やアンケート調査を行うモデル事業を実施。

フードドライブの実施 新規

- ・フードドライブイベントを公共施設で実施 回収量：446個（147.4kg）
- ・フードドライブに参加しやすい環境づくりを進める取組みとして、市HPで「フードドライブ開催情報」の発信を実施



フードドライブの様子

主な施策の実施状況（2021年度）

再生可能エネルギー施策

市有施設への再生可能エネルギー設備導入状況

種別		施設数	発電出力	備考
太陽光発電	メガソーラー	6	6,519kW	メガソーラー発電所 [大原、蒲田 等]
	その他	193 (+4)	2,599kW (+22kW)	公民館、小学校 等
バイオマス発電	廃棄物発電	4	80,900kW	清掃工場 [東部、西部、臨海、都市圏南部]
	その他	2	2,099kW	水処理センター [中部、和臼]
小水力発電		3	222kW	浄水場 [瑞梅寺、乙金]、曲漕ダム
計		208	92,339kW	

※数値は小数点以下を四捨五入，（ ）内の数値は前年度(2020年度)からの増減数

博多区新庁舎整備事業

- ・ 発電する外装システム（太陽光発電）の導入
建物の外壁や窓と一体化させた太陽電池モジュールを導入
災害による停電時には、自立した電源として使用可能
- ・ 断熱性の向上、人検知センサーの導入などにより、50%の省エネを達成し、**ZEB Ready** を取得



博多区新庁舎

主な施策の実施状況（2021年度）

再生可能エネルギー施策

水素リーダー都市プロジェクト

- ・市民の生活排水（下水）から水素を製造し、燃料電池自動車（FCV）へ供給する世界初の水素ステーションの運営（平成26年度～令和3年度）令和4年度から新たな共同体を設立し、運営を再開予定
- ・トヨタ自動車株式会社と水素社会のまちづくり実現に向けた幅広い取組みに関する連携協定を締結し、燃料電池車両等の導入に向けた検討を開始



下水バイオガス由来水素ステーション
（リニューアル予定）

トヨタ自動車との連携⇒新たなFCモビリティの導入



トラック



ごみ収集車



バス

下水汚泥固形燃料化事業

- ・下水汚泥から下水汚泥固形燃料を製造し、石炭の代替燃料として有価で販売
製品出荷量：7,267 t

固形燃料化



セメント工場



石炭の代替燃料

主な施策の実施状況（2021年度）

炭素吸収施策

公共施設での木材利用の促進

- ・ 地域産材を活用し、木のぬくもりを感じられる空間を整備



早良区役所階段手すり



早良区役所カウンター



中央区役所前広場

福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度

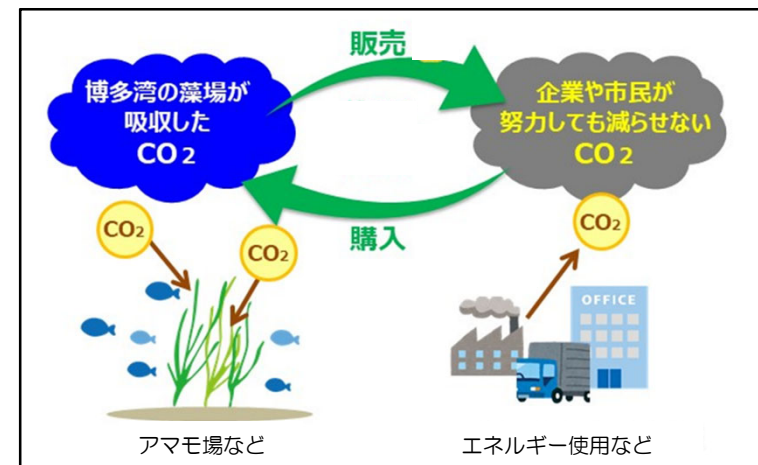
- ・ 博多湾のアマモ場などの藻場による二酸化炭素の吸収・固定を通じて温室効果ガスの削減を目指す

【2021年度実績】

販売クレジット数量：48.5 t -CO₂

森林環境整備事業

- ・ 荒廃した森林の間伐などの整備を実施
間伐面積：39.71ha



福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度

主な施策の実施状況（2021年度）

その他

グリーンボンドの発行

- ・発行額：50億円
- ・43件の機関投資家などに販売し、即日完売【充当事業】

博多区新庁舎整備事業

地下鉄営業線改良事業

雨水整備レインボープラン天神

雨水整備Doプラン2026



2000N系車両

2000系車両の大規模改修時に、車内LED照明等の省エネ機器を導入（地下鉄営業線改良事業）

(株)九州電力福岡支店との連携協定締結

- ・地球温暖化対策を包括的に着実に推進するため、連携強化を図り、協働して推進していくため連携協定を締結

【連携事項】

- (1)住民・事業者の温暖化対策に関する意識醸成と実践行動の推進に関すること
- (2)電気自動車導入の促進に関すること
- (3)先進的な脱炭素のまちづくりに関すること
- (4)福岡市役所における温暖化対策の推進に関すること
- (5)その他、脱炭素社会の実現に関すること



協定締結式

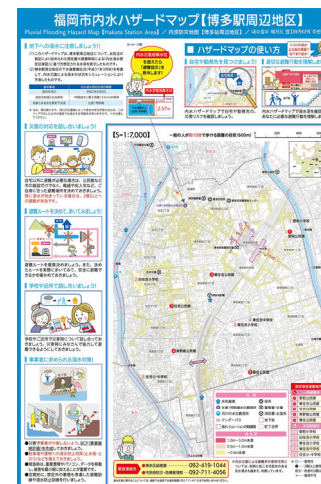
主な施策の実施状況（2021年度）

温暖化による影響の回避・低減（適応策）

洪水・高潮・内水・土砂災害ハザードマップの提供

自然災害

- ・ 区役所の窓口等におけるハザードマップの提供
- ・ 内水浸水想定区域図に基づく内水ハザードマップ（博多駅周辺地区）を公表



内水ハザードマップ
（博多駅周辺地区）

災害時の電力確保 市民生活

- ・ 災害による停電時などに、電気自動車からの給電を可能とする、給電設備を公民館等に設置（民間施設を賃借している照葉北公民館、大名公民館、2022年度に整備予定の飯倉中央公民館を除く）
- ・ 災害時は、庁用車や民間企業との災害時応援協定を活用し、電力を確保できる体制を整備



電気自動車から公民館への給電（イメージ）

浸水対策事業 自然災害

- ・ 「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業
雨水管の整備（中部9号幹線等）
- ・ 「雨水整備Doプラン2026」
雨水管や側溝等の整備（4地区完了見込）

再生水利用下水道事業の推進 水資源

供給箇所数：501箇所

<施工中>



<完成>



整備イメージ（中部2号幹線 内径5.00m）

主な施策の実施状況（2021年度）

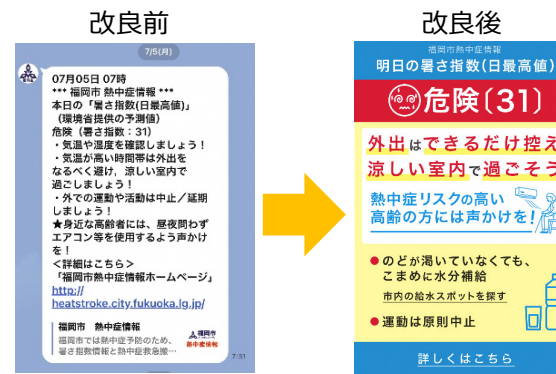
温暖化による影響の回避・低減（適応策）

熱中症対策の推進

健康

- 暑さ指数、救急搬送者数、予防方法、対処方法等をホームページに掲載、LINE・防災メール等による暑さ指数予測情報の発信
- 環境省モデル事業を活用し、LINEデザインを改良
- 様々な媒体を活用した啓発

街頭ビジョン、福岡PayPay ドームのホークスビジョン、庁内施設（区役所）ディスプレイを活用した動画放映、市政だよりによる高齢者への注意喚起、民生委員や社会福祉協議会を通じた高齢者へのチラシ配布 など



LINEデザインの改良



ホークスビジョンでの啓発

暑熱環境に適応したライフスタイルの推進

市民生活

- 緑のカーテンコンテスト、「住宅窓改修の手引き」を活用した広報を実施

緑のカーテン実施施設：市有施設201施設

緑のカーテンコンテスト応募者数：87件



緑のカーテンコンテスト 受賞作品

福岡市地球温暖化対策実行計画施策の取組状況一覧【2021年度(令和3年度)】

●家庭部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
脱炭素型 ライフスタイルへの移行	脱炭素型 ライフスタイルの きっかけづくり	市政だより	市政だより 7/1号同時印刷物「チャレンジ！脱炭素社会～持続可能な未来へ～」の全戸配布による、日常生活の中で手軽にできる行動や温室効果ガス削減効果の大きい行動について情報提供
		出前講座	「地球温暖化対策」、「再生可能エネルギー」、「緑のカーテン」をテーマに出前講座を実施 実施件数：14件、受講者数：257人
		温暖化防止ワークショップ事業	温暖化防止ワークショップの実施 回数：4回
		福岡市環境行動賞	環境保全・創造に貢献し、顕著な功労・功績のあった個人・団体・学校・事業者を表彰するとともに、受賞者の活動を広く市民に発信 募集期間：令和3年9月1日～12月10日 応募件数 104件(内訳：【個人】29件、【団体】46件、【学校】15件、【事業者】14件)
		ECOチャレンジ応援事業	電気やガスの使用量削減、家庭用LED照明の購入などのエコアクションに対して、交通系ICカードのポイントをインセンティブとして付与 ポイント付与：2,380,590ポイント(参加世帯：1,295世帯)
	農水産物の地産地消の推進	「ふくおかさん家のうまかもん」事業者認定事業	福岡市内産農林水産物及びその加工食品を提供又は販売する事業者を認定し、HPで紹介(令和3年度末認定事業者数844件)
	脱炭素に関する理解促進	環境教育副読本 地球温暖化(脱炭素社会の実現)に関する冊子の作成 環境わくわく出前授業	環境教育副読本などによる啓発 「わたしたちのまちの環境」市内全小学校の5年生に配布 17,000部 「ごみとわたしたち」市内全小学4年生に配布 17,200部 ホームページへ掲載 地球温暖化リーフレット版下作成 環境教育動画制作 環境わくわく出前授業(講師派遣事業) 実施校数：17校 環境わくわく出前授業(指導者向け講座) 出前講座：12回
	保健環境学習室まもる一む福岡	・来館者数：4,506人 【個人・団体別】 個人：3,639人、団体：867人 【大人・子ども別】 大人：2,207人、子ども：2,299人 ・教材等貸出 687人・1843件	

●家庭部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
住宅の 省エネルギー化	新築住宅の 省エネルギー化の 推進	「住まいづくりの手引き」等による 広報・啓発	省エネルギー対策など住まいづくりのポイント、助成制度などに関する情報をまとめた「住まいづくりの手引き」を配布(900部発行)
		低炭素建築物認定	低炭素建築物認定件数:506件
	既存住宅の 省エネルギー化の 推進	「住まいづくりの手引き」等による 広報・啓発(再掲)	
		住宅窓の改修に関する広報・啓発	・「住宅窓改修の手引き」を活用した広報啓発(情報プラザでの配布等) ・市政だより、福岡市情報プラザ通信、市HPなどによる情報発信
省エネルギー 機器の導入	住宅用省エネルギー 設備等の導入支援	住宅用エネルギーシステム導入促進事業	「エネルギーを創って貯めて賢く使う」自家消費型の住宅用エネルギーシステムの普及促進のため、導入費用の一部を助成 導入が図られたシステム数:1,019基 (太陽光発電170基、家庭用燃料電池200基、HEMS324基、蓄電池317基、V2Hシステム8基)
再生可能 エネルギーの 利用拡大	環境負荷の低い 電気を利用しやすい 環境づくり	再エネ由来電力共同購入事業	家庭や事業所における使用電力の脱炭素化を推進するため、共同購入手法を活用した再生可能エネルギー由来電力導入機会を民間事業者と協働で実施 <実績>共同購入事業「(EE電)(いいでん)」参加登録者:274件 切替数:56件
	住宅への太陽光発電 や蓄電池の導入推進	住宅用エネルギーシステム導入促進事業 (再掲)	

●業務部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
脱炭素経営への移行	脱炭素経営の啓発	事業者に提案した効果的な省エネの取組みの発信	「事業所省エネ計画書制度」参加事業所に提案した、効果的な省エネの取組みを、市HP上で発信
		事業所省エネ計画書制度	事業所による自主的かつ計画的な省エネの支援 参加事業所総数: 40件
		エコアクション21取得支援事業	・エコアクション21普及・導入セミナーの実施(福岡県・久留米市と合同開催) ・集合コンサルティング(福岡県と合同開催) ・社会貢献優良企業の受付
	サステナブルファイナンスの推進	国際金融機能の誘致	・香港における金融フォーラムへのブース出展 ・国際金融機能の誘致に向けたフォーラムの開催 ・ワンストップ窓口「Global Finance Centre」の運営
脱炭素関連のイノベーションの創出	イノベーションの創出に向けた環境づくり	実証実験フルサポート事業	令和3年度採択プロジェクト数: 12件 ※脱炭素につながるテーマ以外のプロジェクト含む。
		福岡市研究開発型スタートアップ成長支援事業	採択件数: 4件(うちグリーンテック枠2件)
建築物の省エネルギー化	新築建築物の省エネルギー化の推進	省エネ性能向上計画	省エネ基準を上回る高い省エネ性能を有する建築物のエネルギー消費性能向上計画の認定 認定数: 5件
	既存建築物の省エネルギー化の推進	事業所省エネ計画書制度(再掲)	
		省エネサポート事業	「いつでも見られる省エネセミナー」として省エネ啓発動画を市HP上で発信
建築物の緑化の推進	都心部のまちづくりの推進	都心部機能更新誘導方策における事業者協議のなかで、敷地や建物の緑化を誘導 ・天神ビッグバンボーナス認定: 3件 ・博多コネクティッドボーナス認定: 1件	
設備の省エネルギー化	省エネルギー機器の導入の普及啓発	事業所省エネ計画書制度(再掲)	
		省エネサポート事業(再掲)	

●自動車(モビリティ)部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
公共交通等の利用	公共交通を主軸とした総合交通体系づくりの推進	地下鉄七隈線延伸事業	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工事や駅建築・設備工事などの各種工事を引き続き推進 ・延伸に伴い増備した新車両について橋本～天神南間にて運用を開始 ・地下鉄駅構内の情報発信コーナーや交通局ホームページなどを活用した情報発信(事業効果, 進捗状況, 交通規制情報等)
		都心循環BRT	<ul style="list-style-type: none"> ・都心循環BRTにおける利用促進方策などの検討 ・バスレーンの規制周知チラシの配布・都心循環BRTと鉄道との乗り継ぎ案内の強化
		バス利用環境等の改善(上屋・ベンチ設置)	<p>ベンチプロジェクト</p> <p>バス停付近のベンチ設置</p> <p>民有地:2箇所 市有地:9箇所</p> <p>交通事業者による上屋ベンチ設置</p> <p>バス停の環境整備</p> <p>道路管理者によるバス停下屋ベンチ設置 4箇所</p>
	地下鉄車両の更新・大規模改修	2000系車両大規模改修事業	地下鉄車両大規模改修時に、主回路制御装置、SIV装置、車内LED照明等の省エネ機器を導入改修車両は2編成(19編成、20編成)
	公共交通機関の利用を促す啓発やきっかけづくり	パーク・アンド・ライドの推進	<ul style="list-style-type: none"> ①商業施設と連携したパーク・アンド・ライドの推進 イオンモール香椎浜等8施設で継続実施 ②「はやかけん」を使ったパーク・アンド・ライド優待サービス 10駅13箇所(2021年3月末)
	交通混雑緩和の推進	自動車専用道路の整備	福岡高速3号線延伸事業の推進 都市計画事業認可 福岡北九州高速道路公社にて事業着手 測量・地質調査及び設計を実施
		幹線道路の整備	主要放射環状道路やそれにアクセスする幹線道路の整備 都市計画道路の整備率 84.9%(R3年度末見込み)
		連続立体交差事業の推進	事業進捗率 93.7%(決算見込み額ベース)
		フリッジパーキングの実施	<p>フリッジパーキング実証実験</p> <p>天神地区の交通混雑緩和に向けた実証実験。天神に行く人の駐車場料金割引、乗車人数分の西鉄バス片道乗車券の進呈</p> <p>【対象駐車場(2021年度)】</p> <p>天神北:ボートレース福岡第1立体駐車場、エフパーキング北天神</p> <p>天神南:グラウンドパーキング</p>

●自動車(モビリティ)部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
公共交通等の利用	自転車、徒歩などで移動しやすい環境整備	自転車利用環境の整備	自転車通行空間の整備 整備延長:約8.9km(累計約131.6km) 駐輪場の整備 整備台数:49,732台(累計)
		実証実験フルサポート事業	電動キックボードシェアリングサービス「mobby ride」について、新事業特例制度を活用した新たな規制の特例措置を設けた公道での実証実験を支援。
		誰もが安心して歩ける歩行空間の整備や通学路の安全対策	歩道設置率 27.7%
	移動を要しない環境づくり	行政手続きのオンライン化	オンラインで利用できる手続きの割合(年間処理件数ベース) 令和3年度末 86.2%
		法人等を対象とした地方税の電子申告及び納税の推進	・個人市民税(申告書)の電子受付の開始 ・市ホームページや市政だより等において周知、広報を実施 (参考)主な税目の電子申告利用率(令和3年度) 法人市民税 83.9% 個人市民税(給与支払報告書)62.1%
		コンビニエンスストアにおける証明書交付	制度についての広報を実施 コンビニ交付件数:233,830通(有料全体の15.84%)
自動車の脱炭素シフトの推進	電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の導入推進	HP等による広報	次世代自動車展示会2021を実施(展示&オンライン) 警固公民館にてPHEVからの給電訓練を実施(R3.11月)
		次世代自動車の普及促進事業(電気自動車等)補助金	電気自動車等の購入に関する費用の一部を助成 電気自動車等購入助成:214台
	充電・充てんインフラ整備の推進	民間施設への公共用充電設備設置支援(次世代自動車の普及促進(充電設備)補助金)	電気自動車用急速充電設備設置に関する費用の一部を助成 電気自動車用急速充電設備設置助成:4基
		水素リーダー都市プロジェクト	水素製造設備の長期運転に対する耐久性や維持管理費の低減に向けた自主研究を実施 市主催の屋外イベントにて、「グリーン水素」を活用したFCVIによる給電を実施したほか、水素エンジン車への燃料としての「グリーン水素」活用などを実施
	物流分野などでの脱炭素化の推進	車両に関する実証支援	燃料電池車両の導入に向け、トヨタ自動車と連携協定を締結
シェアリング等の推進	シェアリングサービスの利用推進	「はやかけん」を使ったレール&カーシェアサービス	「はやかけん」を使ったレール&カーシェアサービス 5駅12箇所(2022年3月末)
		宅配ボックスの導入助成	再配達抑制と受取の非接触化につながる宅配ボックスの購入費用を助成 助成件数:783件
		福岡スマートシェアサイクル事業「チャリチャリ」	シェアサイクル(チャリチャリ)の市内ポート設置数:494か所
		実証実験フルサポート事業(再掲)	

●廃棄物部門

方向性	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
廃棄物の減量	プラスチックごみの削減	福岡市マイボトル協力店制度	登録店舗数67店舗(R3年度末現在)
		給水スポットの設置	博多区役所及び植物園の2か所に設置 イベント等で活用できる可搬式給水スポット1台を導入
		3R推進事業(イベント等でのワンウェイプラスチックの削減推進)	イベント等におけるワンウェイプラスチック使用量の削減を図るため、参加者への啓発やアンケート調査を行うモデル事業を実施
	バイオマスプラスチックなど代替素材への転換の促進	ごみ袋へのバイオマス素材の導入	①ラブアース・クリーンアップ(バイオマス25%以上) 【作製枚数】燃えるごみ:15,00枚、燃えないごみ:16,000枚、プラスチック(45L):4,000枚、プラスチック(15L):5,500枚 ②環境美化袋(バイオマス25%以上) 【作製枚数】燃えるごみ:32,000枚
	食品ロス削減の推進	家庭での食品ロス削減	①出前講座 13件235名 ②フードドライブ回収量 446個147.4kg ③家庭で廃棄する未使用の食品や食べ残しを記録する「食品ロスダイアリー」を小学4年生へ配布(約16,000部)
		フードバンク活動推進事業	フードバンクを活用した食品ロス削減啓発事業(福岡市共働事業提案制度を活用したNPOとの協働事業) ①協定締結、推進実行委員会の設置 ②食品受取インフラの検証 ③アクションプランの作成 ④施設移転に伴う共同事業報告会及び施設見学会(参加者26名)
AI・ICTを活用した食品ロス削減		気象予測にもとづいた福岡市販需要予測情報活用による食品ロス削減実証実験(事業系ごみ資源化技術実証研究等支援事業) ①進捗状況・成果報告会 ②市内事業者へ商品需要予測サービスの案内	
資源の有効活用	プラスチック資源循環に向けた取組みの推進	3R推進事業(製造メーカーによる自主回収の支援)	製造メーカーによる自主回収に関する連絡・調整を実施
	食品廃棄物の資源化の推進	生ごみ堆肥化の推進	①菜園講座 実施回数:6回 参加人数:62人 ②段ボールコンポスト講座 実施回数:4回 参加人数:75人
	環境配慮型商品の普及促進	環境配慮型商品の広報	小学4年生向け社会科副読本「ごみとわたしたち」17,200部配布
廃棄物埋立技術の国際貢献	技術協力による海外の脱炭素化への貢献	準好気性埋立構造「福岡方式」の普及・導入による環境分野の技術協力	ミャンマー・ヤンゴン市への技術支援(国連ハビタットとの共同事業)3年目、国際視察・研修受入 海外技術者への研修 174名 ※オンライン研修、下記視察・研修受入含む JICA等研修(視察受入:0か国、0名 研修受入:5か国、6名(オンライン研修))
フロン類の適正管理	適正廃棄の啓発、適正回収の確認	自動車リサイクル法に基づく適正なフロン回収	自動車リサイクル法に基づく適正回収の確認 立入件数:63件

●再生可能エネルギー施策

方向性	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
再生可能エネルギー等の導入推進	住宅・建築物への太陽光発電や蓄電池の導入推進	市有施設へのPVの導入(とりまとめ)	市有施設への再生可能エネルギー導入状況 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電 <ul style="list-style-type: none"> メガソーラー 施設数 6 発電出力 6,519kW その他 施設数193 発電出力 2,599kW ・バイオマス発電 <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物発電 施設数 4 発電出力80,900kW その他 施設数 2 発電出力 2,099kW ・小水力発電 施設数 3 発電出力 222kW 合計 施設数208 発電出力92,339kW
		住宅用エネルギーシステム導入促進事業(再掲)	
	バイオマスを活用した発電設備の導入推進	廃棄物発電	清掃工場(東部、西部、臨海、福岡都市圏南部) 総発電電力量:250,322千kWh ※福岡都市圏南部の発電量は福岡市からの搬入量により算定
		消化ガス発電事業	水処理センター(和白水処理センター) 消化ガス発電(場内利用) 総発電電力量: 810千kWh
		下水汚泥固形燃料化事業	下水汚泥固形燃料化施設(西部水処理センター) 製品出荷量: 7,267 t
		熱エネルギーの有効利用	排熱利用(西部、中部、東部、和白水処理センター)
	建築用材とならない木材の活用	森林の間伐等で生じた建築用材とならない木材を木質バイオマス発電所等の燃料材として活用(442立米)	
	水素社会の実現に向けた取組みの推進	水素リーダー都市プロジェクト	水素製造設備の長期運転に対する耐久性や維持管理費の低減に向けた自主研究を実施 市主催の屋外イベントにて、「グリーン水素」を活用した燃料電池電源車の給電実証を実施したほか、塩分濃度差を利用した水素製造法による実施における水素製造量の推定への支援などを実施
再生可能エネルギー由来電力の利用拡大	環境負荷の低い電気を利用しやすい環境づくり	再エネ由来電力共同購入事業(再掲)	
エネルギーマネジメントシステムの導入・普及	住宅、建築物内でのエネルギーの効率的な利用の推進	住宅用エネルギーシステム導入促進事業(再掲)	

●炭素吸収施策

方向性	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
森林等の保全・再生	森林の整備の推進	森林環境整備事業	間伐: 39.71ha
		市営林造林保育事業	保育間伐等 161.81ha
		市内水源かん養林整備事業	水源かん養林整備 育林整備(下刈14.69ha 除伐27.93ha 間伐28.01ha) 造林整備(広葉樹の植林0ha) 水源林ボランティアによる整備活動 回数 50回 参加延べ人数 537人
		市外水源かん養林整備支援事業	市外水源かん養林整備支援(糸島市・那珂川市) 下刈6.75ha 枝打ち2.7ha 間伐0.47ha 除伐4.6ha 竹転0.14ha 市外水源かん養基金支援事業(朝倉市・東峰村) 下刈り・間伐・造林103.99 ha 再造林0.21 ha 下刈り19.64ha造林1.81ha 水源地域との交流事業 事業回数 1回 参加延べ人数 23人 福岡市市民団体水道水源かん養等活動助成金事業 事業回数 2回 参加延べ人数57人
		主伐推進事業	主伐: 3.00ha 森林作業道作設: 900m 造林: 2.64ha
		森林・山村多面的機能発揮対策交付事業	活動団体 3団体
		森林経営管理制度推進事業	意向調査 411件(733筆)
		ボランティア体験プログラム「ハジメのイッポ」	森林保全等のプログラム: プログラム数 4 参加者数 5人
		福岡市水源の森づくり共働事業	企業ボランティア協定数 3団体 面積 計6.9ha
	クレジットの活用	森林によるカーボン・オフセット推進事業	売却量: 11t-CO2

●炭素吸収施策

方向性	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
森林等の保全・再生	森林に親しむ環境づくり	市民の森管理費	油山市民の森 施設利用者数:159,298人
		油山市民の森等リニューアル事業	R3.11.5 公募開始 R4.3.28 優先交渉権者の決定 ※令和5年度中にリニューアルオープン予定
	森の恵み体験活動	森のワークショップ:5回 森の恵みクラブ体験会:4回 生きものと私たちの暮らし展(生物多様性に関するパネル展):1回 オンライン自然観察会:2回	
	農地土壌への炭素貯留などの推進	環境保全型農業直接支払交付金事業	生物多様性保全等に効果の高い営農活動に対する支援を行った。 ・事業実施主体:農業者団体1団体(市内農地での取組農家20戸) ・取組内容:化学肥料、農薬の5割低減の取組とセットで実施する
木材利用	木材利用の啓発	地域産木材を活用した中央区役所玄関前広場の整備	・中央区役所前交差点の信号待ちの歩行者滞留による交通混雑を解消するため、植栽や壁を撤去し空間を確保した。また、ユニバーサルデザインに配慮して、スロープの拡張や手すり・ベンチを設置し、さらなるバリアフリー化を推進した。 ・地域産材を活用して、木のぬくもりが感じられるオープンスペースへリニューアルを行った。 市産材木材:4.0116m ³ 県産材木材:10.8105m ³
		庁舎内の木質化	早良区役所1階の市民課・保険年金課窓口カウンター及び柱周りの木質化を実施
	安定的な木材利用の仕組みづくり	林業資源ビジネス化プロジェクト	利用間伐:10.26ha 森林作業道作設:3,000m
みどりあふれるまち並みの形成	公共用地や民有地の緑化の推進	身近な公園整備事業	身近な公園整備:2公園
		公園再整備事業(公園再整備事業)	公園再整備:21公園
		緑化推進事業	街路樹再整備:2路線
		都心部のまちづくりの推進(再掲)	
ブルーカーボンの創出	生育環境の調査・把握	水質監視	・水質汚濁防止法に基づき海域の水質モニタリングを実施し、環境基準の達成状況を把握(環境基準点8地点で月1回、補助地点3地点で年4回) ・ホームページや年次報告書等により結果を公表
		博多湾環境保全計画の推進	生物指標モニタリング調査 藻場分布状況調査 貧酸素発生状況調査(5~10月) 16地点中13地点で発生
	アマモ場づくり活動の推進	博多湾の環境保全創造事業	・今津や志賀島でアマモ種子散布を行う等、多様な主体と共働したアマモ場づくり活動を実施。 ・博多湾のアマモ場等によるCO ₂ 吸収量をクレジット化し販売(48.5t-CO ₂)。販売収益をアマモ場づくり活動等の取組みに活用。

●適応策

分野	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
自然災害・沿岸域	浸水対策	「雨水整備Dóプラン2026」 「雨水整備レインボープラン天神」	<ul style="list-style-type: none"> ・「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業 雨水管の整備(中部9号幹線等) ・「雨水整備Dóプラン2026」 雨水管や側溝等の整備(4地区完了見込)
		流域貯留浸透事業 (那珂川流域、樋井川流域) 雨水貯留施設整備事業	地質調査、測量 等
		雨水流出抑制対策の推進	本市所管の公共施設を対象とした雨水流出抑制を推進
		河川改修事業	護岸工(水崎川L=106m、金屑川L=180m、浜男川L=110m)、 測量、設計、補償 等
		局地的豪雨対策緊急事業	根継工(長尾川L=156m、大谷川L=68m) 等
		雨水流出抑制施設助成制度	雨水貯留タンク: 36件
	避難行動の周知	ハザードマップ(洪水、内水、土砂災害、 高潮、津波)の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに内水ハザードマップ(博多駅周辺地区)を公表し、校区や地下街事業者へ配布 ・洪水・高潮ハザードマップの増刷 ・総合ハザードマップの保守
		出前講座や市政だより、各種イベント	出前講座(実施回数: 38回、参加人数: 1,854人(R3年度))、市政だより(6/1号)、 福岡市防災フェア等を通じて、適切な避難行動についての知識の普及・啓発
		防災情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・観測機器の運用保守 ・福岡市防災気象情報ホームページの保守
		ハザードマップの多言語化、 避難場所標識	避難場所標識看板について、未設置施設に対し設置 (令和3年度は7箇所9枚を設置)

●適応策

分野	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
自然災害・沿岸域	土地災害の防止	林道保全事業	林道防災工事 林道6路線 74m
		市営林造林保育事業 林業資源ビジネス化プロジェクト	(市営林造林保育事業)保育間伐等 161.81ha (林業資源ビジネス化プロジェクト) 利用間伐 10.26ha、森林作業道作設 3,000m
	高潮・波浪など 海岸災害の対策	市外水源かん養林整備支援事業 市内水源かん養林整備事業 水源林ボランティア共働事業 企業との共働事業	糸島市6.48ha(下刈、竹転) 那珂川市8.18ha(下刈、枝打、間伐、除伐) 朝倉市104.2ha(水源林の造林等) 東峰村21.45 ha(水源林の造林等) 市内 71ha(下刈、間伐、伐竹) 水源林ボランティア 活動回数50回、参加延べ人数537人 企業ボランティア協定数3団体、整備面積計6.9ha
		海岸整備事業	和白護岸 護岸改良 L=25m 仮設工 L=94m
		松くい虫防除による住環境保全対策事業	① 伐倒駆除: 1,357本(春期・秋期・冬期) ② 薬剤地上散布: 98.38ha ③ 樹幹注入: 954本
健康	熱中症予防に関する 注意喚起	熱中症対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「福岡市温暖化対策推進会議」にて、全庁へ熱中症対策の取組み実施を依頼 ・暑さ指数予測、救急搬送者数、予防方法、対処方法等をホームページや市LINE、防災メールにより情報発信 ※暑さ指数予測最高値31以上の場合: 市LINE、防災メールにて注意喚起発信(前日17時30分、当日7時30分) ・環境省モデル事業を活用し、市LINEデザインを改良 ・街頭ビジョン、福岡PayPayドームのホークスビジョン、庁内施設(区役所)ディスプレイでの動画放映 ・市政だよりによる高齢者への注意喚起 ・民生委員や社会福祉協議会を通じた高齢者へのチラシ配布 ・乳幼児健診時に予防啓発、応急手当の講習などの実施 ・市民体育館、児童福祉施設、市立学校、障がい者施設や介護保険関連事業所等へ注意喚起
	感染症予防に関する 注意喚起	感染症にかかる情報提供	蚊が媒体する感染症について、ホームページを利用し、注意喚起を実施。
	大気汚染物質の モニタリング	大気監視 黄砂・微小粒子状物質(PM2.5)対策	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染防止法に基づき、大気汚染物質の常時監視を実施し、環境基準の達成状況を把握。 ・ホームページや年次報告書等で、調査結果を公表

●適応策

分野	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
農業・林業・水産業	気温上昇に適応した農業経営の推進	農業指導センターの活動	高温障害耐性を有する品種「実りつくし」への転換推進 高温障害対策について、県、JAと協議し、「稲作だより」にて周知
		都市近郊野菜産地等整備事業 園芸施設整備事業 畜産環境整備経営対策事業	・省力栽培温室等の整備 ・被覆資材等の整備 ・ふん尿処理設備の整備、飼料生産機械の導入等
		アグリDXプロジェクト(スマート農業推進)	環境制御システム実装圃場のデータ検証、農業用ドローンのデモンストレーション、スマート農業に関する農業者向けの情報発信
	林業の振興	森林環境整備事業	間伐: 39.71ha
		森林経営管理制度推進事業	意向調査 411件(733筆)
		松くい虫防除による住環境保全対策事業	① 伐倒駆除: 1,357本(春期・秋期・冬期) ② 薬剤地上散布: 98.38ha ③ 樹幹注入: 954本
藻場の保全	藻場造成事業	複数の種が混生し年間を通して繁茂する藻場を維持するため、藻場造成を実施。 ・食害防止ネット 点検・補修、追跡調査	
水環境・水資源	河川、海域等の環境モニタリング	水質監視	・水質汚濁防止法に基づき、河川・海域の水質モニタリングを実施し、環境基準の達成状況を把握。 ・ホームページや年次報告書等で、調査結果を公表
		博多湾環境保全計画の推進	博多湾環境保全計画に基づく環境モニタリング調査の実施と調査結果の情報発信
		水質検査	・水質検査計画に基づき、水源であるダム及び河川の水質検査を実施 ・ホームページや年次報告書により、検査結果を公表
	水資源確保	福岡地区水道企業団からの受水(海水淡水化センター等)	受水量: 年間50,560,000m ³ (一日平均138,521m ³)
		市外水源かん養林整備支援事業 市外水源かん養基金支援事業 福岡市市民団体水道水源かん養等活動助成金事業	糸島市6.48ha(下刈、竹転) 那珂川市8.18ha(下刈、枝打、間伐、除伐) 朝倉市104.2ha(水源林の造林等) 東峰村21.45ha(水源林の造林等) 市民団体による植樹や交流等に助成を行う。実施件数2件
		配水調整事業	遠方監視制御装置の計画的な更新を実施 (更新15箇所)
		漏水防止事業	漏水調査延長: 2,967km(うち漏水発見375件) 電気防食保守点検: 176箇所 電気防食対策工事: 1箇所 漏水防止給水管取替工事: 1,334件
	地下水かん養量の増加	透水性舗装等: 43,762m ² 浸透側溝等: 3.4km	

●適応策

分野	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
水環境・水資源	節水や水の有効活用 の推進	節水機器の普及啓発 「水をたいせつに」広報の推進	水道局ホームページにて上手な節水方法を紹介
		再生水利用下水道事業の推進	再生水供給区域の拡大および再生水管の延長 全体供給区域：1,528ha（中部地区：1,020ha、東部地区：508ha） 箱崎地区33haを追加 供給箇所数：501箇所（15箇所増） 再生水管総延長：113.4088km（0.6024km増）
		雨水流出抑制施設助成制度（再掲）	
自然生態系	自然環境調査	博多湾環境保全計画の推進 自然環境調査	<ul style="list-style-type: none"> ・博多湾環境保全計画に基づく環境モニタリング調査の実施と調査結果の情報発信 ・水生生物調査の実施と調査結果の情報発信
		自然環境調査	<ul style="list-style-type: none"> ・アライグマ防除計画改定に伴うHP更新 ・アライグマ生息調査の実施と調査結果の情報発信 ・アライグマ防除支援、捕獲従事者講習会の実施 1回16名参加 ・特定外来生物に対する相談対応 相談件数：62件 ・特定外来生物に関する情報発信 ・外来生物問題連絡会議の開催 幹事会：1回開催
	自然環境の保全	生物多様性ふくおか戦略の推進 環境影響評価の推進 福岡市環境配慮指針の適切な運用	森の恵み体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・森のワークショップ：5回 ・森の恵みクラフト体験会：4回 ・生きものと私たちの暮らし展（生物多様性に関するパネル展）：1回 ・オンライン自然観察会：2回 ふくおかレンジャー <ul style="list-style-type: none"> ・養成講座（自然観察会含む）：7回 里海保全再生活動 <ul style="list-style-type: none"> ・カプトガニ卵塊幼生調査 ・保全活動：1回 ・環境学習：1回 ・今津干潟で活動している団体による情報交換会：1回 <ul style="list-style-type: none"> ・西部工場建替事業配慮書に対する市長意見の送付 ・事後調査報告書審査 5件 ・各種開発事業の許認可等に際した意見提出 149件 ・環境に影響を及ぼすおそれのある事業への環境配慮の促進 8件

●適応策

分野	取組	事業名等	取組内容
			令和3年度
経済活動・市民生活	経済活動の機能不全への備え	備蓄促進ウィーク	事業に賛同した企業19社の各店舗(計258店舗)に対して、防災グッズや備蓄食品などの販売コーナーの設置やポスター掲示などを協力依頼
		災害時応援協定	物的支援:4件、人的支援:3件、帰宅困難者支援:2件、電力供給支援:1件を締結
		ホームページ等による啓発	・市HPにBCPの概要やBCP策定に役立つ参考リンク先を掲載
		緊急輸送道路の整備	地震や台風などの災害時において、円滑な人命救助や物資輸送路の確保を目的として、緊急輸送道路の整備(拡幅、橋梁の耐震補強など)を進めます。
		無電柱化の推進	・福岡市無電柱化推進計画(R3~R7)の策定 ・電線共同溝等の整備 無電柱化整備延長(R3年度末):154.7km
	ライフラインの確保	住宅用エネルギーシステム導入促進事業(再掲)	
		次世代自動車の普及促進事業(再掲)	
		出前講座	災害による停電時の電源供給につながる再生可能エネルギーや電気自動車のメリットなどを出前講座で広報
		国等の補助金制度の情報提供等	市HPに国等の補助金制度の概要を掲載
		無電柱化の推進(再掲)	
		災害時の電力確保	・可搬型外部給電器(7台)の購入 ・庁用車として各区に1台ずつ、PHEVを導入 ・公民館・会館等に給電設備の設置 ・三菱自動車との協定締結
		重要施設の耐水化	・災害対策の拠点である本局庁舎の耐水化工事の設計 ・重要な水道施設について、想定最大規模降雨における被害を想定した、ハード・ソフト両面からの対策方針の検討
	災害ごみの処理	災害廃棄物対策	一次仮置場台帳(配置図)の作成 災害廃棄物処理対応研修の実施
	ヒートアイランド現象の緩和	緑化の推進	街路樹再整備:2路線
		地下鉄七隈線延伸事業	・土木工事や駅建築・設備工事などの各種工事を引き続き推進 ・延伸に伴い増備した新車両について橋本~天神南間にて運用を開始
	住宅での暑さ対策	緑のカーテンプロジェクト	・市民や事業者の取組みを募集し、優れた作品を表彰する緑のカーテンコンテストを実施 緑のカーテンコンテスト応募件数:87件 ・緑のカーテン実施市有施設数:201施設
		国等の補助金制度の情報提供等	・市HPに国等の補助金制度の概要を掲載 ・「住宅窓改修の手引き」を活用した広報